

令和7年度 第1回沖縄県がん診療連携協議会 離島・へき地部会議事要旨

日 時：令和7年12月15日(月) 16:30～17:15

場 所：Zoomを利用したWeb会議

参加者：11名

赤松道成（北部地区医師会病院）、有銘みどり（北部地区医師会病院）、西原政好（県立宮古病院）、下地千里（県立宮古病院）、山本孝夫（県立八重山病院）、砂川 綾子（県立八重山病院）、古波津万里子（沖縄県保健医療部健康長寿課）、真栄里隆代（ゆうかぎの会）
戸板孝文（県立中部病院）、増田昌人（琉球大学病院がんセンター）、知念崇（琉球大学病院がんセンター）

欠席者：4名

友利寛文（那覇市立病院）、安次嶺宏哉（沖縄協同病院）、吉田幸生（県立中部病院）

田盛亜紀子（やいまゆんたく会）

陪 席：1名

豊福真理子（琉球大学病院がんセンター）

【報告事項】

1. 令和6年度 第4回離島・へき地部会議事要旨について

赤松委員より、資料1に基づき前回議事要旨について説明があった。

増田委員より離島・へき地における疾患別対応状況について未更新の為、至急対応すると報告があった。

また、療養場所ガイドについては年度内（3月末）には発行可能との報告があった。

2. 2040年を見据えたがん医療提供体制の均てん化・集約化に関する

とりまとめ（がん診療体制のあり方に関する検討会）

増田委員より、資料2に基づき2040年を見据えたがん医療提供体制の均てん化・集約化の説明があり、報告があった。

3. 2040年を見据えたがん医療提供体制の均てん化・集約化に係る基本的な考え方及び検討の進め方について

（厚生労働省健康・生活衛生局がん・疾病対策課長通知）

増田委員より、資料3に基づき2040年を見据えたがん医療提供体制の均てん化・集約化に係る基本的な考え方及び検討の進め方について、厚生労働省から、患者会、有識者含め、連携協議会で議論を進めることになったと説明があった。

4. 【都道府県がん診療連携拠点病院あて】2040年を見据えたがん医療提供体制の均てん化・集約化に係る基本的な考え方及び検討の進め方に関する技術的支援について

（沖縄県保健医療介護部長通知）

増田委員より、資料4に基づき2040年を見据えたがん医療提供体制の均てん化・集約化に係る基本的な考え方及び検討の進め方に関する技術的支援について、厚生労働省から六つの各拠点病院宛てに医療提供体制の均てん化・集約化に関する検討を進め

るよう依頼があったことの報告があった。

5. 【沖縄県がん診療連携協議会あて】2040年を見据えたがん医療提供体制の均てん化・集約化に係る基本的な考え方及び検討の進め方に関する技術的支援について
(沖縄県保健医療介護部長通知)

増田委員より、資料5に基づき沖縄県保健医療部長宛てに2040年を見据えたがん医療提供体制の均てん化・集約化に係る基本的な考え方及び検討の進め方に関する技術的支援について、沖縄県がん診療協議会宛てに医療提供体制の均てん化・集約化に関する検討を進めるよう依頼があったことを報告した。

6. 沖縄県における医療機関の集約化と分散化について

- (1)これまでの決定事項

第3回の連携協議会により、資料6に基づき沖縄県における医療機関の集約化と分散化について、原案通り承認された。

- (2)がん種ごとの選定条件

①脳腫瘍（脳・中枢神経系）、②頭頸部（口腔/咽頭/喉頭/鼻腔・副鼻腔/唾液腺）、③甲状腺、④食道、⑤胃、⑥大腸、⑦肝臓、⑧胆道（胆のう・胆管）、⑨脾臓、⑩肺、⑪骨・軟部腫瘍、⑫難治性皮膚がん、⑬乳房、⑭婦人科がん（子宮頸部、子宮体部、卵巢）、⑮泌尿器がん（前立腺、腎、膀胱）、⑯血液腫瘍、⑰小児がん、⑱AYA世代のがん、⑲希少がん、⑳遺伝性腫瘍

増田委員より、資料7に基づきがん種ごとの選定条件について報告があった。

赤松委員より集約化しないときのペナルティはあるのか、補助金はあるのか質問があがった。

増田委員より、ペナルティは特にない、補助金については、各都道府県の状況が違うことと2次医療ごとに条件が違うため、補助金はないとの回答があった。

7. その他

【協議事項】

1. 北部・宮古・八重山医療圏における血液内科外来・腫瘍内科外来・放射線治療外来の達成状況について
増田委員より北部地区医師会が未開設の為、早急に今年度中に開設するようにするとの説明があった。
2. 第4次沖縄県がん対策推進計画（連携協議会版）の中間評価について
増田委員より資料9に基づき、第4次沖縄県がん対策推進計画（連携協議会版）について説明があり、継続的に協議することとなった。
3. 次回の開催日程について
来年1月に幹事会、2月に協議会があり2次医療圏ごとの評価をするため1月に開催となった。
4. その他

令和 7 年度 第 2 回沖縄県がん診療連携協議会 離島・へき地部会議事要旨

日 時：令和 8 年 1 月 15 日(木) 16:00～17:00

場 所：Zoom を利用した Web 会議

参加者：13 名

有銘みどり（北部地区医師会病院）、西原政好（県立宮古病院）、下地千里（県立宮古病院）
山本孝夫（県立八重山病院）、砂川 綾子（県立八重山病院）、友利寛文（那覇市立病院）
吉田幸生（県立中部病院）、戸板孝文（県立中部病院）、古波津万里子（沖縄県保健医療介護
部健康長寿課）、真栄里隆代（ゆうかぎの会）田盛亜紀子（やいまゆんたく会）、増田昌人
(琉球大学病院がんセンター)、知念崇（琉球大学病院がんセンター）

欠席者：2 名

赤松道成（北部地区医師会病院）、安次嶺宏哉（沖縄協同病院）

オブザーバー：1 名

佐藤 正博（やいまゆんたく会）

陪 席：1 名

豊福真理子(琉球大学病院がんセンター)

【報告事項】

1. 令和 7 年度 第 1 回離島・へき地部会議事要旨について

増田委員より、資料 1 に基づき前回議事要旨について説明があった。

2. 増田委員より資料 2 に基づき、離島・へき地における疾患別対応状況について、HP 掲 載への更新完了の報告があった。

増田委員より、患者会の田盛委員、真栄里委員へ「うちな～がんネットがんじゅう」
の利用をぜひ、広めていただきたいとの依頼があった。

3. その他

増田委員より、現在療養場所ガイドの作成中のため、作成次第、北部地区医師会、
宮古、八重山の委員の方へ確認依頼をすると説明があった。

【協議事項】

1. 第 4 次沖縄県がん対策推進計画（連携協議会版）の中間評価について

増田委員より資料 3 に基づき、第 4 次沖縄県がん対策推進計画（連携協議会版）の
離島・へき地分野の中間評価について説明があり、議論した。

増田委員がまとめて、連携協議会に提出することとなった。

西原委員より、データの古いこと及びバラつきについて、質問があり、増田委員

より、掲載しているのは、現時点で出している日本の最新のデータであり、情報の収集に時間がかかるとの説明があった。

増田委員より改めて、データについての定義、報告書を委員に送付すると説明があった。

西原委員より、疾病別対応状況について3月末で今年度の集計が可能になるため、HPの更新は可能か質問があり、増田委員より、今後、がん種も15がん種から20がん種に増えるため、再度集計すると回答があった。

吉田委員より、早期がん割合の検診以外は全体ということなのか、Nのデータも出るのか質問があり、増田委員より、早期がん割合の検診以外は確認し、Nのデータについては改めて、報告書を送付する回答があった。

知念委員より、検診で診断された方のみの5年生存率のデータはでるのかについて、増田委員より、現在は、がん種の5年生存率のみしかなく、検診で診断された方のみの5年生存率はなしと回答があった。

3. 次回の開催日程について

3月開催予定。

4. その他